平成26年３月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年１月31日

上 場 会 社 名	キーコーヒー株式会社	上場取引所	東
コ ー ド 番 号	2594	URL	http://www.keycoffee.co.jp/
代　　表　　者	（役職名） 代表取締役社長	（氏名）	柴田　裕
問合せ先責任者	（役職名） 財務部長	（氏名）	橋口　芳久　(TEL) 03-3433-3311
四半期報告書提出予定日	平成26年２月10日	配当支払開始予定日	―

四半期決算補足説明資料作成の有無　　：無
四半期決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

１．平成26年３月期第３四半期の連結業績（平成25年４月１日～平成25年12月31日）

（１）連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年３月期第３四半期	41,488	△1.2	1,771	28.4	2,073	30.5	1,274	39.6
25年３月期第３四半期	42,013	1.7	1,380	165.8	1,589	128.5	912	386.7

（注）包括利益　26年３月期第３四半期　1,407百万円（　38.4%）　25年３月期第３四半期　1,016百万円（ 411.9%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年３月期第３四半期	56.17	―
25年３月期第３四半期	41.22	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年３月期第３四半期	48,264	36,168	72.7
25年３月期	46,635	35,120	72.9

（参考）自己資本　26年３月期第３四半期　35,093百万円　　25年３月期　34,010百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年３月期	―	5.00	―	7.00	12.00
26年３月期	―	7.00	―		
26年３月期(予想)				7.00	14.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：無

３．平成26年３月期の連結業績予想（平成25年４月１日～平成26年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	53,460	△0.3	1,370	44.8	1,660	28.0	1,010	△7.8	44.53

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動　　：無

（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

新規　　社（社名）　　、除外　　社（社名）

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：無

②　①以外の会計方針の変更　　：無

③　会計上の見積りの変更　　：無

④　修正再表示　　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年３月期３Ｑ	22,689,000株	25年３月期	22,689,000株
②　期末自己株式数	26年３月期３Ｑ	7,945株	25年３月期	7,945株
③　期中平均株式数（四半期累計）	26年３月期３Ｑ	22,681,055株	25年３月期３Ｑ	22,134,111株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 4
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 …… 4
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 4
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 4
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 4
３．四半期連結財務諸表 …… 5
（１）四半期連結貸借対照表 …… 5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 7
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 10
（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 12
(継続企業の前提に関する注記) …… 12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) …… 12
(セグメント情報等) …… 13

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第３四半期連結累計期間（平成25年４月1日から平成25年12月31日までの９ヶ月間）における当社グループを取巻く経営環境は、新政権による経済政策や金融政策により緩やかに回復の兆しが見られたものの、個人消費は低調なまま推移するなど厳しい状況が続きました。

コーヒー業界は、ここ数年高値圏で推移していたコーヒー生豆相場が最高値圏を脱し、落ち着きを取り戻してきたものの、急激な円安が進行したことによる輸入原材料の価格上昇が相次ぎ、また、平成26年4月より予定されている消費税増税の影響が懸念されるなど、先行き不透明な状況が続いております。

このような市場環境の下、当社グループはコーヒーの持つ魅力を生活者にお届けし続けるという企業使命を果たすため、「品質第一主義」の経営理念に基づき、「ブランド強化」、「収益力の強化」及び「グループ連携強化」を３つの柱として、新たな事業領域の開拓、生活者のニーズにお応えする新商品の開発やお取引先との絆を深める企画提案型の営業活動を行いました。

この結果、当社グループの当第３四半期連結累計期間の売上高は、414億88百万円(前年同期比1.2%減)、営業利益は17億71百万円(同28.4%増)、経常利益は20億73百万円（同30.5%増）となりました。また、四半期純利益は12億74百万円(同39.6%増)となりました。

セグメントの営業概況は次のとおりであります。

（コーヒー関連事業）

業務用市場では、「トアルコ トラジャ コーヒー」や「氷温熟成珈琲」(2013年度公益社団法人氷温協会『優秀技術賞』受賞）など差別性の高いプレミアムコーヒーの拡販活動を推進しました。また、お取引先への支援策として、春夏期には「カレーフェア」や「トロピカルマンゴーフェア」などを実施し、秋冬期には「パスタフェア」や「シチューフェア」などを実施しております。また、フェアにあわせ、「根野菜と豆のキーマカレー」や「ほうれん草とサーモンのクリームソース」などの新商品を発売しました。10月には２回目となる「KEYCOFFEE SHOW」を大阪で開催し、当社グループの業容や提案活動を総合的に紹介しました。

家庭用市場では、春夏商品として「氷温熟成珈琲 マンデリン」と「リッチブレンド」を詰合わせた「ドリップ オン バラエティパック」や手軽にカフェ気分が味わえる「割りカフェ」シリーズに「カフェオレベース 甘さひかえめ」を、秋冬商品としては、「ドリップ オン 氷温熟成珈琲オリジナルブレンド」、「インスタントコーヒーミックス カフェ・オ・レ 贅沢仕立て」を発売しました。

ギフト商品では、中元期に「天然水プリズマ飲料ギフト」、「トラジャ＆ブルーマウンテン レギュラーコーヒーギフト」など全34アイテムを、歳暮期には“挽きたての香りと格別なおいしさ”をテーマに、４年連続してモンドセレクション『金賞』を受賞した「ドリップオンギフト」や挽きたての香りを封じ込めた「アロマフラッシュ」シリーズなど、バラエティー豊富な24アイテムをラインアップしました。

新たな商品カテゴリーを創出するために市場導入したイタリアのコーヒーメーカーillycafe S.p.A.（イリカフェ社）のカプセルコーヒーシステムにつきましては、６月に日本初となるillyエスプレッソマシンの専門店を近鉄あべのハルカスに出店するなど積極的な提案活動を行いました。

なお、2013年度モンドセレクションにおいて「アロマフラッシュ　鮮やかな香り キリマンジェロブレンド」が３年連続『最高金賞』を受賞し、2013年iTQi（国際味覚審査機構）においては、「真空パック スペシャルブレンド」が２年連続『優秀味覚賞“三ツ星”』を受賞するなど、数々の当社商品が高く評価されました。

この結果、当第３四半期連結累計期間におけるコーヒー関連事業の売上高は350億51百万円（前年同期比2.0％減）、営業利益は20億84百万円（同29.2％増）となりました。

（飲食関連事業）

株式会社イタリアントマトでは、「夏のスイーツフェア」や「秋のフードフェア」など四季折々の食材を取り入れた季節毎のメニューフェアを実施しました。また、「国内は充実」「海外は拡大」の方針に加え新業態店舗の開発を促進することとし、国内では新ブランド「ＩＴカフェ」の第１号店「イオンモールつくば店」などの出店を行い、海外ではＡＳＥＡＮ地域での拡大を進めるとともに、中国に「ケーキショップ　上海久光静安店」、台湾には「スペリオーレ プリーズ台北駅店」を出店するなど、国内外に21店を出店しました。一方、不採算店16店を閉鎖し、店舗数は309店（直営店80店、ＦＣ店229店）となりました。

この結果、当第３四半期連結累計期間における株式会社アマンドを含めた飲食関連事業の売上高は46億10百万円（前年同期比1.6％減）、営業利益は５百万円（同79.7％減）となりました。

（その他）

当第３四半期連結累計期間におけるその他事業の売上高は18億27百万円（前年同期比17.3％増）、営業利益は１億39百万円（同34.7％増）となりました。

（２）財政状態に関する説明

（資産）

総資産は前連結会計年度末に比べて16億29百万円増加し、482億64百万円となりました。

流動資産は６億52百万円増加し、251億74百万円となりました。これは現金及び預金は減少（10億67百万円減）したものの、受取手形及び売掛金の増加(18億98百万円増)などによるものであります。

固定資産は９億76百万円増加し、230億89百万円となりました。有形固定資産は95百万円増加しました。無形固定資産は14百万円減少し、投資その他の資産は投資有価証券の増加(７億61百万円増)などにより８億96百万円増加しました。

（負債）

負債は前連結会計年度末に比べて５億81百万円増加し、120億96百万円となりました。

流動負債は前連結会計年度末に比べて５億32百万円増加し、93億32百万円となりました。これは支払手形及び買掛金の増加（10億99百万円増）などによるものであります。

固定負債は49百万円増加し、27億63百万円となりました。

（純資産）

純資産は前連結会計年度末に比べて10億47百万円増加し、361億68百万円となりました。これは利益剰余金の増加（９億56百万円増）などによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年３月期の業績予想につきましては、現時点において平成25年10月28日に公表致しました業績予想の変更はございません。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成25年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,883	8,815
受取手形及び売掛金	6,683	8,581
有価証券	5,087	4,990
商品及び製品	1,150	1,201
仕掛品	158	148
原材料及び貯蔵品	863	936
繰延税金資産	371	212
その他	350	321
貸倒引当金	△26	△33
流動資産合計	24,522	25,174
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,137	6,025
機械装置及び運搬具（純額）	1,650	1,697
土地	6,315	6,315
その他（純額）	660	820
有形固定資産合計	14,764	14,860
無形固定資産		
のれん	140	114
その他	314	325
無形固定資産合計	454	440
投資その他の資産		
投資有価証券	4,814	5,576
長期貸付金	157	145
繰延税金資産	18	20
差入保証金	1,695	1,744
その他	478	576
貸倒引当金	△271	△272
投資その他の資産合計	6,893	7,789
固定資産合計	22,112	23,089
資産合計	46,635	48,264

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成25年12月31日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,629	5,729
短期借入金	410	178
未払金	1,336	1,351
未払法人税等	653	394
賞与引当金	586	296
その他	1,184	1,381
流動負債合計	8,800	9,332
固定負債		
長期借入金	15	103
繰延税金負債	21	67
再評価に係る繰延税金負債	557	557
退職給付引当金	1,249	1,208
資産除去債務	257	272
その他	612	553
固定負債合計	2,714	2,763
負債合計	11,514	12,096
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,628	4,628
資本剰余金	5,037	5,037
利益剰余金	27,369	28,325
自己株式	△13	△13
株主資本合計	37,022	37,978
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	614	744
土地再評価差額金	△3,623	△3,623
為替換算調整勘定	△2	△5
その他の包括利益累計額合計	△3,012	△2,885
少数株主持分	1,110	1,074
純資産合計	35,120	36,168
負債純資産合計	46,635	48,264

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自 平成25年４月１日 至 平成25年12月31日）
売上高	42,013	41,488
売上原価	29,342	28,739
売上総利益	12,670	12,749
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費及び見本費	874	883
荷造運搬費	846	845
車両費	373	382
貸倒引当金繰入額	39	20
役員報酬	272	231
給料及び賞与	4,469	4,444
賞与引当金繰入額	201	235
退職給付費用	329	138
福利厚生費	707	733
賃借料	871	837
減価償却費	298	261
消耗品費	267	261
研究開発費	157	161
その他	1,579	1,540
販売費及び一般管理費合計	11,290	10,978
営業利益	1,380	1,771
営業外収益		
受取利息	28	20
受取配当金	88	189
持分法による投資利益	－	57
為替差益	9	－
受取家賃	32	34
その他	67	47
営業外収益合計	226	349
営業外費用		
支払利息	11	8
持分法による投資損失	0	－
為替差損	－	35
その他	5	4
営業外費用合計	17	47
経常利益	1,589	2,073

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自 平成25年４月１日 至 平成25年12月31日）
特別利益		
固定資産売却益	25	1
投資有価証券売却益	7	130
負ののれん発生益	7	―
受取賠償金	17	15
特別利益合計	57	147
特別損失		
固定資産売却損	9	―
減損損失	―	10
投資有価証券評価損	13	―
その他	1	0
特別損失合計	23	10
税金等調整前四半期純利益	1,622	2,209
法人税、住民税及び事業税	771	758
法人税等調整額	△77	170
法人税等合計	694	929
少数株主損益調整前四半期純利益	928	1,280
少数株主利益	15	6
四半期純利益	912	1,274

四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自 平成25年４月１日 至 平成25年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	928	1,280
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	88	130
土地再評価差額金	0	－
為替換算調整勘定	△1	△4
持分法適用会社に対する持分相当額	0	0
その他の包括利益合計	88	126
四半期包括利益	1,016	1,407
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,001	1,400
少数株主に係る四半期包括利益	15	6

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自 平成25年４月１日 至 平成25年12月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,622	2,209
減価償却費	980	912
減損損失	－	10
負ののれん発生益	△7	－
固定資産売却損益（△は益）	△16	△1
投資有価証券売却損益（△は益）	△7	△130
投資有価証券評価損益（△は益）	13	－
受取賠償金	△17	△15
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△8	8
賞与引当金の増減額（△は減少）	△19	△289
退職給付引当金の増減額（△は減少）	187	△38
受取利息及び受取配当金	△117	△210
支払利息	11	8
持分法による投資損益（△は益）	0	△57
売上債権の増減額（△は増加）	△1,588	△1,900
たな卸資産の増減額（△は増加）	107	△115
仕入債務の増減額（△は減少）	482	1,099
未払金の増減額（△は減少）	215	103
その他	304	248
小計	2,144	1,843
利息及び配当金の受取額	106	199
持分法適用会社からの配当金の受取額	－	11
利息の支払額	△11	△7
受取賠償金の受取額	17	16
法人税等の支払額	△454	△1,024
法人税等の還付額	44	0
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,847	1,037
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	－	△3,000
有価証券の取得による支出	△5,500	△6,500
有価証券の償還による収入	5,500	6,500
投資有価証券の取得による支出	△438	△1,076
投資有価証券の売却及び償還による収入	487	571
有形固定資産の取得による支出	△444	△1,000
有形固定資産の売却による収入	177	4
無形固定資産の取得による支出	△91	△38
その他	62	△235
投資活動によるキャッシュ・フロー	△246	△4,774

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自 平成25年４月１日 至 平成25年12月31日）
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	401	120
短期借入金の返済による支出	△461	△329
長期借入れによる収入	－	140
長期借入金の返済による支出	△165	△72
配当金の支払額	△220	△314
その他	△75	△68
財務活動によるキャッシュ・フロー	△520	△526
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2	△4
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	1,077	△4,267
現金及び現金同等物の期首残高	7,945	10,270
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,023	6,002

（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

当第３四半期連結累計期間（自　平成25年４月１日　至　平成25年12月31日）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当第３四半期連結累計期間（自　平成25年４月１日　至　平成25年12月31日）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間(自 平成24年４月１日 至 平成24年12月31日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他（注１）	合計	調整額（注２）	四半期連結損益計算書計上額（注３）
	コーヒー関連事業	飲食関連事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	35,772	4,683	40,455	1,557	42,013	―	42,013
セグメント間の内部売上高又は振替高	353	2	356	1,107	1,464	△1,464	―
計	36,126	4,685	40,812	2,665	43,477	△1,464	42,013
セグメント利益	1,613	24	1,637	103	1,741	△361	1,380

(注)　1.　「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、飲料製品製造事業、オフィスサービス事業及び通販事業、運送物流事業、保険代理店事業等を営んでおります。

2．セグメント利益の調整額 △３億61百万円には、セグメント間取引消去 ５百万円、棚卸資産の調整額 30百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用 △３億97百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間(自 平成25年４月１日 至 平成25年12月31日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他(注１)	合計	調整額(注２)	四半期連結損益計算書計上額(注３)
	コーヒー関連事業	飲食関連事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	35,051	4,610	39,661	1,827	41,488	―	41,488
セグメント間の内部売上高又は振替高	361	1	362	939	1,302	△1,302	―
計	35,412	4,611	40,024	2,767	42,791	△1,302	41,488
セグメント利益	2,084	5	2,089	139	2,228	△457	1,771

(注)　1.　「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、飲料製品製造事業、オフィスサービス事業及び通販事業、運送物流事業、保険代理店事業等を営んでおります。

2．セグメント利益の調整額 △４億57百万円には、セグメント間取引消去 ４百万円、棚卸資産の調整額 ６百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用 △４億68百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

(単位：百万円)

	コーヒー関連事業	飲食関連事業	その他	合　計
減損損失	―	10	―	10